

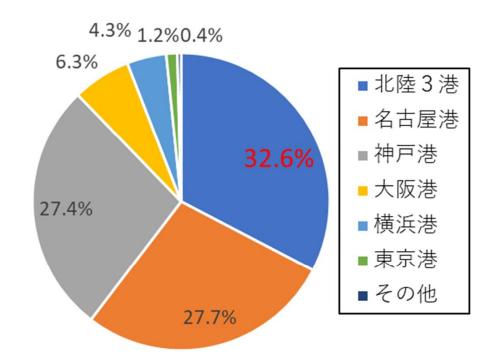
北陸地域の輸出状況 (対米輸出を中心に)



【お問合せ先】 財務省 北陸財務局 経済調査課 TEL (076)292-7858

1. 北陸からの輸出品の船積港別割合

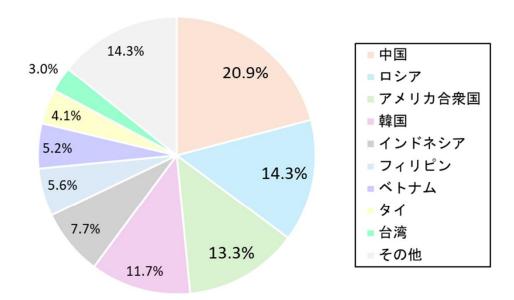
■ 令和5年度の生産地別輸出状況をみると、北陸で生産された製品が北陸3県の港から輸出される割合は3割超を占めているほか、名古屋港、神戸港がそれぞれ3割弱を占めている。



2. 北陸3県の輸出通関額(国別)

■ 令和7年上期の北陸3県からの輸出は、中国向けが最も 多く、次いでロシア、アメリカとなっている。

北陸 3 県 輸出先 (R7年上期)



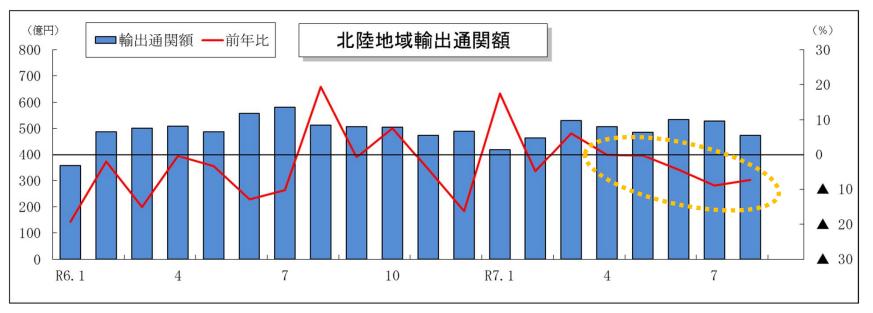
【出所】国土交通省「令和5年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」より当局作成

【備考】調査期間は令和5年11月の1か月間。北陸3港とは伏木富山港、金沢港、 敦賀港。重量(t)ベースでの割合。 【出所】「財務省貿易統計」より当局作成

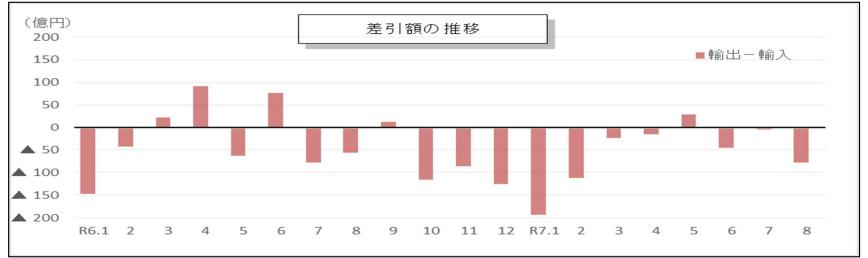
※北陸3県・・・石川県 金沢税関支署、七尾出張所、小松空港出張所 富山県 伏木税関支署、富山出張所、富山空港出張所 福井県 敦賀税関支署、福井出張所

3. 北陸3県の輸出通関額の推移

■ 本年8月まで5か月連続で対前年比マイナスが続いている。
また、輸出額から輸入額を引いた差引額の推移をみると、3か月連続(6~8月)で輸入が上回っている。







4. 北陸地域の対米輸出状況①

■ 令和6年における北陸3県の対米輸出を概況品別にみると、 「一般機械」が全体の7割以上を占めており、次いで「電気機器」、「ゴム製品」となっている。 県別でみると、石川県は「一般機械」が最も多く、8割以上を占めている。 富山県は「一般機械」が最も多く、次いで「鉄鋼」、「電気機器」となっている。 福井県は「一般機械」が最も多く、次いで「プラスチック」となっている。



<対米輸出の状況(概況品別)>

◆北陸	三県	金額 (百万円)	構成比 (%)
米国		70,617	
	一般機械	52,589	74.5
	電気機器	3,084	4.4
	ゴム製品	2,527	3.6
	鉄鋼	2,497	3.5
	輸送用機器	1,976	2.8





【出所】「財務省貿易統計」より当局作成

※北陸三県・・・石川県 金沢税関支署、七尾出張所、小松空港出張所 富山県 伏木税関支署、富山出張所、富山空港出張所 福井県敦賀税関支署、福井出張所

※概況品とは、財務省の貿易統計において、9桁の統計番号単位で計上している品目を、主要商品とし て複数の品目を集約し、貿易統計の発表の際に使用しているもの。

◆石川	県	金額(百万円)	構成比 (%)
米国		53,143	
	一般機械	46,659	87.8
	ゴム製品	2,522	4.7
	輸送用機器	1,013	1.9
	電気機器	959	1.8
	再輸出品	805	1.5

◆石川	県	金額(百万円)	構成比(%)
米国		53,143	
	一般機械	46,659	87.8
	ゴム製品	2,522	4.7
	輸送用機器	1,013	1.9
	電気機器	959	1.8
	再輸出品	805	1.5

◆富山県		金額 (百万円)	構成比 (%)
米国		12,611	
	一般機械	2,733	21.7
	鉄鋼	2,370	18.8
	電気機器	2,125	16.9
	医薬品	1,780	14.1
	輸送用機器	963	7.6

石川	川県 金額(百万円) 構成比(%)				
(国		53,143			
	一般機械	46,659	8	37.8	
	ゴム製品	2,522		4.7	
	輸送用機器	1,013		1.9	
	電気機器	959		1.8	
	再輸出品	805		1.5	

一般機械の内訳

雷気機器の内訳

•重電機器 8.8% ・コンデンサー 7.9%

•荷役機械 19.6% ·金属加工機械 3.1%

·建設用·鉱山用機械 61.3%

・電気回路等の機器 56.7%

・絶縁電線及び絶縁ケーブル 6.2%

- 一般機械の内訳 - 金属加工機械 32.9%
- ·半導体製造装置 26.7%
- ポンプ及び遠心分離機 3.3%

電気機器の内訳

- ·電気用炭素及び黒鉛製品 70.6%
- ·電気計測機器 15.0%
- *家庭用電気機器 6.4%
- ・電気回路等の機器 5.3%

◆福井	県	金額 (百万円)	構成比 (%)
米国		4,863	
	一般機械	3,197	65.7
	プラスチック	858	17.6
	精密機器類	471	9.7
	その他の化学製品	149	3.1
		0.7	2.0

一般機械の内訳

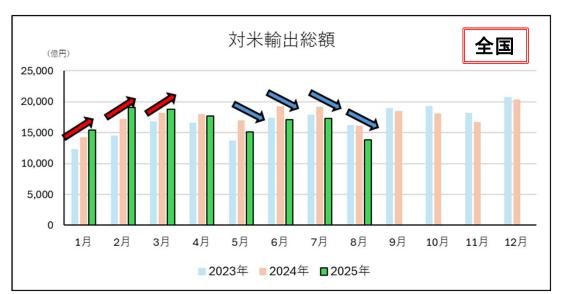
•原動機 99.8%

精密機器類の内訳

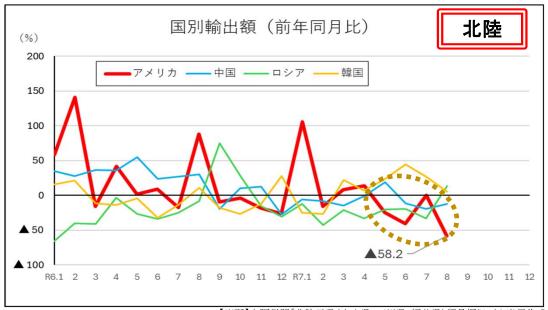
・めがねのわく及び柄 74.0%

4. 北陸地域の対米輸出状況②

■ 全国では、2025年3月までは増加しているものの、5月以降(~8月)は減少傾向。 北陸3県でも、2025年1月は高水準であるものの、5月以降(~8月)は減少傾向。



【出所】「財務省貿易統計」より当局作成



【出所】大阪税関「北陸三県(富山県・石川県・福井県)貿易概況」より当局作成





■月別輸出先順位(2025年)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	1位	アメリカ	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国
in a	2位	中国	アメリカ	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア	ロシア
	3位	ロシア	ロシア	韓国	アメリカ	韓国	韓国	韓国	韓国
	4位	韓国	韓国	アメリカ	韓国	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ベトナム
	5位	インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	アメリカ

■月別輸出主要品目順位(2025年)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	1位	金属加工機械	建設用・ 鉱山用機械	自動車	自動車	自動車	自動車	自動車	自動車
	2位	建設用・ 鉱山用機械	自動車	建設用・ 鉱山用機械	建設用・ 鉱山用機械	繊維機械	建設用・ 鉱山用機械	建設用・ 鉱山用機械	繊維機械
	3位	自動車	銅及び同合金	銅及び同合金	銅及び同合金	建設用・ 鉱山用機械	銅及び同合金	繊維機械	銅及び同合金
	4位	銅及び同合金	荷役機械	金属加工機械	原動機	銅及び同合金	繊維機械	その他の化学製品	プラスチック
ĺ	5位	荷役機械	金属鉱及びくず	プラスチック	プラスチック	プラスチック	その他の化学製品	銅及び同合金	荷役機械

【出所】大阪税関「北陸三県(富山県・石川県・福井県)貿易概況」より当局作成

※北陸三県・・・石川県 金沢税関支署、七尾出張所、小松空港出張所 富山県 伏木税関支署、富山出張所、富山空港出張所 福井県 敦賀税関支署、福井出張所

◆北陸地域の企業の声

■不透明感の解消

- ○関税率の妥結により取引先が様子見の姿勢から解放されたこともあり、 8月から受注が上向いている。【生産用機械】
- 〇様子見していた取引先が投資に動き出しており、北米向けは安定した受 注が続いている。【生産用機械】
- 〇対米向けで、税率確定後は抑えていた投資意欲が回復したようで受注 は増加傾向。【生産用機械】
- 〇カーシート向けは、関税率の合意前は受注が減ったものの、足下では戻りつつある。【繊維】

■懸念薄らぐ

- ○自動車向けについて北米向けが好調。関税の影響を懸念していたが、 現時点で影響は出ていない。【プラスチック】
- ○4月頃は、関税の影響を懸念していたが、今のところ影響は軽微。 【眼鏡】
- 〇自動車メーカーが減産等の方針を打ち出すことを懸念していたが、現時点では自動車向けで需要の減少はみられない。【電子部品】
- 〇米国では主に富裕層をターゲットにしており、順調に売上げを伸ばしている。 【金属製品】

■代替需要増

○中国のレアアース輸出規制を背景に、取引先からバックアップ対応として受注が増加。レアアースの増産体制を在庫原料で進めているが、規制が続くと仕入れに課題。【化学】

■品目追加で予断を許さない

- 〇鉄鋼・アルミの追加品目に当社の主力製品であるマシニングセンタが加えられたことで対米向けが明らかに鈍化。【生産用機械】
- ○今のところ影響は無いが、当社の複合加工機が対象にならない か今後の動向を注視。【生産用機械】

■中国などアジアの影響

- ○中国のレアアース規制によりモーターの入荷が滞るなど、製品の 出荷遅れに繋がり売上減に影響。【生産用機械】
- 〇自動車の生産台数が減少すると、当社の生産減にも繋がるため 影響を懸念。また、日系自動車メーカーが中国の部品メーカーから 低価格の部材を仕入れ始めており受注減のおそれ。【金属製品】
- OASEAN諸国で米国関税の影響による投資意欲の減退が見られている。【生産用機械】

■影響なし/先行き懸念

- ○影響は受けてないが、世界的な景気の減退に伴う受注の減少や 値下げ要請を懸念。【電子部品など複数】
- ○景気の減退に伴う消費マインド低迷を懸念。【小売業など複数】
- ○税率15%発動後に通関した製品でも追加関税がかかっていない との話も聞く。いつから実影響が出るのか読めない。【生産用機械】